

2024年度第2回 [事前・外部]評価委員会審議結果

【評価結果】S(特に顕著な成果や特別な成果の創出が認められる)  
 A(顕著な成果の創出が認められる)  
 B(標準、着実な業務運営がなされている)  
 C(より一層の工夫・改善等が期待される)

(研究実施項目: 事前評価)

NO.	テーマ	研究テーマ名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	1B	代理モデルによる高潮リスクの効率的な評価手法の開発	岩本 匠夢	A	—
2	1B	沿岸防災に資する高波の監視と予測に関する研究	田村 仁	A	A
3	2B	ブルーインフラを含む海洋植生の有する広域CO2吸収能力の新評価法提案	茂木 博匡	A	A
4	2B	津波等に起因する海洋ハザードを踏まえた洋上風力発電等のリスク評価法の開発	村田 一城	B	—
5	3A	リアルタイム係留船舶動揺予測による荷役安全性の評価に関する研究	濱野 有貴	B	—
6	3A	MPMプログラミングツールの開発	中村 圭太	B	—
7	3A	土中で生じる電気化学現象の実務への適用に関する研究	杉山 友理	B	B
8	3A	矢板式係船岸の設計の合理化に関する研究	松村 聡	B	B
9	4A	水中ICT建機の普及に向けた研究	平林 丈嗣	A	B
10	4A	特定水中点検作業の自動化スキームの構築	田中 敏成	B	—
11	4A	点検ロボットの運用拠点の多様化の検討	喜多 司	A	—
12	2A	油等海洋流出物の回収及び対応の最終的解決に向けた研究開発	藤田 勇	A	A
13	2A	港湾域の生物モニタリング手法及び評価基軸となる指数の開発	細川 真也	A	—
14	3B	海洋構造物の防食工法の設計・維持管理の高度化に関する研究	山路 徹	A	B

【評価結果】5: 非常に優れている  
 4: 優れている  
 3: 普通  
 2: やや劣る

(特定萌芽的研究: 事前評価)

NO.	テーマ	研究テーマ名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	4B	コンテナターミナルの荷役機械の運用計画に関する調査	犬塚 秀世	4	3
2	4B	余震を考慮した確率論的地震ハザード解析の新たな実施手法の構築に関する研究	菅原 法城	3	4